

平成28年11月7日

平成28年度債権管理・回収等検証委員会 審議テーマ(案)

1. 債権管理の適切性(債権管理の現状を踏まえて)

- (1)回収実績の視点から
- (2)回収実績以外の債権の状況から

2. 回収促進策の効果分析等

- (1)回収促進策等の効果分析
- (2)第3期中期計画における総回収率等の達成状況の検証

3. 平成27年度債権管理・回収等検証委員会における提言等のフォローアップ

- (1)返還者全体に対して行うべき施策
- (2)重点的に働きかけるべきグループを抽出して行う施策
- (3)第3期中期計画における「要返還債権数に占める当該年度に新たに3ヶ月以上延滞となった債権数の割合を前中期目標期間最終年度における割合と比較し中期目標期間中に20%以上改善する」ための必要な施策

4. その他の検討課題について

(1) 奨学金事業に関する業務の計測するうえで適切な指標の在り方

平成27年度債権管理・回収等検証委員会報告書において、「第三期中期目標のうち「新たに3ヶ月以上延滞となった債権数の割合の削減」については、次期中期目標においても継続して設定していくべきかどうかについて十分な検討が必要である。」と提言されている。次期中期目標開始年度である平成31年度に向けて、平成29年度から指標案を検討するに当たり、本委員会においても、この指標に代わる適切な指標の在り方について検討していく必要がある。

(2) 奨学金制度の正しい理解のための周知の在り方

新所得連動返還型奨学金や給付型奨学金の創設など奨学金制度の大きな見直しが平成29年度より開始される状況を踏まえ、特に高等学校等に対する奨学金制度の正しい理解と返還意識の涵養や、学校と連携した借り過ぎ防止を図るためのより効果的な周知の在り方について検討していく必要がある。